

おもちゃのお医者さん



修理のときはお揃いのエプロンで

私たちおもちゃのお医者さんは、発足して約10年現在は15名で活動しているボランティアグループです。主に児童館や保育所、幼稚園でおもちゃの病院を開いて、壊れたおもちゃを修理しています。持ち込まれたおもちゃは、壊れ方もさまざま、中には修理できないと思うようなものもあります。それでも子ども達が大切にしている姿を見ると、「必ず治してあげたい。これからも大切に使うしてほしい」という気持ちが高まります。そして修理を施したおもちゃを手渡されたときの子ども笑顔は、治してよかったと心から思わせてくれます。会員は、「今まで培ってきた技術を定年後も活かしたい」、「地域に貢献したい」との思いで、この会に参加しています。そして、みんなに共通している物を大切にすることを心がけ、自然と互いの中にながりがや絆を生み、活動を続ける原動力になっています。今後の目標は、活動場所を増やすことです。そして、一人でも多くの子どもに物を大切にすることを育んでもらいたい。そんな願いを持ちながら、これからもおもちゃの治療を続けていきます。

問合せ松尾達也さんへ
2952 0666

人口と世帯(市民課)	11月1日現在()内は前月比
住民基本台帳人口	外国人登録人口
男 80,408人(-28人)	939人(-7人)
女 77,866人(-14人)	1,175人(+16人)
合計 158,274人(-42人)	2,114人(+9人)
世帯 62,019世帯(+77世帯)	1,522世帯(+5世帯)

年齢別人口(住民基本台帳法に基づく)

14歳以下	20,303人(12.8%)
15~64歳	111,964人(70.8%)
65歳以上	26,007人(16.4%)

10月の火災・救急件数(消防本部)

火災件数 5件(建物4件、その他1件)
救急出動件数 492件(搬送人員476人)

消費者ホット情報

被害が広がる「次々販売」にご注意を

悪質な訪問販売業者は、同じ人を狙って言葉巧みに繰り返し契約をさせることがあります。

「床下点検に訪れた業者が『床下が腐っている』と言って耐震工事を行った。その後、屋根を点検して『地震が起きたら屋根が落ちる』と屋根裏の補強工事も契約した。このように、次々と契約した結果、いつのまにか工事代が数百万円にまでなったケースが新聞などの報道でも取り上げられています。

一度、契約をしてくれた人は、悪質業者にとって「お得意様」となり、しつこく迫れば契約がまた取れると見込んでいます。特に、ひとり暮らしの高齢者は狙われやすく、さらに「お得意様」の情報は、契約した業者にとどまらず、ほかの悪質業者にまで広がってしまいます。「何か変だ」と感じたら、迷わずに消費生活センターにご相談ください。

相談・問合せ月～金曜日の9時30分～15時30分に
消費生活センターへ 2954 7799

狭山市ホットインフォメーション

市のイベントなど市役所からのお知らせを狭山ケーブルテレビの「テレビ・さやま新聞」で放送しています。更新は週に1度。ぜひご覧ください。
放送時間(1日5回) 6時30分・8時30分・13時・18時30分・0時30分
テレビ・さやま新聞ニュースや市民生活に関する情報をタイムリーにお届け。ちゃっぴいアワーニュースやお店紹介、キャンパス情報までさまざまな内容 7時・9時(土・日のみ)・12時・16時・23時放送。ちゃっぴい撮影隊講演会、音楽会などでお届け。19時放送
問合せ狭山ケーブルテレビ ☎0120-340-379
e-mail:ch9@sta.s-cat.ne.jp http://www.s-cat.ne.jp



さやま大茶会に11茶席が

編集後記・取材現場から
鮮やかに色づいていた木々の葉も落ちはじめ、朝夕の寒さが日にと厳しさを増し、冬の足音が聞こえてくる季節になりました。

秋の一大イベント「さやま大茶会」も秋から冬へと表情を変え始めた狭山稲荷山公園で行われました。残念ながら、お茶を味わうことはできませんでしたが、お茶を点てるときのひとつひとつの動作が実に美しく、改めて長い歴史の中で築かれた、日本の伝統文化の素晴らしさを感じることができた取材でした。

私たちは、さまざまなイベントにお邪魔し、皆さんが真剣に取り組んでいる姿や楽しんでいく雰囲気やカメラに収め、広報紙やホームページで紹介しています。「広報さやま」の腕章を付けたカメラマンを見かけたら、ぜひ取材にご協力をお願いします。

さて、皆さんは最近のイベント会場で、広報課の職員が写真撮影と一緒にビデオの撮影をしているのをお気づきでしょうか？現在、市の公式ホームページから動画をストーリーミング配信するための準備をしています。どうぞご期待ください。